

令和 3 年度  
学校関係者評価結果報告書

令和 4 年6月1日

学校法人西田学園  
アルファ医療福祉専門学校

## 学校関係者評価委員会報告書

学校法人西田学園 アルファ医療福祉専門学校は、令和4年5月27日に「令和3年度 学校自己評価表」に基づいて学校関係者評価を実施しましたので、以下の通り報告いたします。

令和4年6月2日作成  
学校法人西田学園  
アルファ医療福祉専門学校  
学校関係者評価委員会

### 1. 学校関係者評価委員出席者 定員6名

- (1) 榎本 耕（社会福祉法人桐仁会 かえで園施設長）
- (2) 小磯 英次（社会福祉法人たけのうち福祉会理事長）
- (3) 榊原 直哉（社会福祉法人福愛会 藤井保育園園長）
- (4) 柁屋 富治郎（町田市接骨師会会長）
- (5) 松坂 健志（社会福祉法人東の会みたけ施設長）

### 学内出席者4名

- (1) 瀧 将仁（校長）
- (2) 山根 満（教務課課長）
- (3) 蒔田 あゆみ（教務課課長代理）
- (4) 林 希美（教務課）

### 3. 会議の概要

#### (1) 校長挨拶

開会挨拶の後、職業実践専門課程及び学校関係者評価委員会についての概要、趣旨説明。

#### (2) 出席委員紹介

#### (3) 学内出席者紹介

#### (4) 本校概要説明

本校の沿革、学科、生徒数、就職状況等について説明。

#### (5) 令和3年度自己評価結果について

自己点検・自己評価報告書をもとに、項目ごとの自己評価、課題、改善策について説明をした後、出席委員との意見交換、質疑応答が行われた。

#### 4. 学校関係者評価結果

大項目	学校関係者評価
基準1 教育理念	<p>評価：適切である。</p> <p>課題：学校の将来構想が社会のニーズにマッチしているかどうかについては、引き続き業界の動向や情報収集の把握に努める必要がある。</p> <p>改善策：職業教育の特色については、学生・保護者等への周知が十分と言えず、保護者会、配布物、インターネット等による周知の機会を増やしていく。</p>
基準2 学校運営	<p>評価：適切である。</p> <p>課題：教務システムを十分に活用しきれておらず、生徒情報等の管理のために活用を強化していく必要がある。</p> <p>改善策：教務システムの機能を見直し、活用状況の改善を図っていく。</p>
基準3 教育活動	<p>評価：適切である。</p> <p>課題：業界団体との連携によるカリキュラムの見直し等については、教育課程編成委員会の委員からの意見を取り入れているが、十分とは言えない。</p> <p>改善策：関係団体の連携を取る機会を設けてカリキュラム等の見直しを図っていく。</p>
基準4 学修成果	<p>評価：やや不適切</p> <p>課題：令和3年度の退学者数は前年に比べて減少したが、退学者数を低減させるためにさらなる強化策が必要である。</p> <p>資格取得率は学科によって差があり、国家試験対策の見直しが必要である。</p> <p>改善策：退学者数の低減については、退学理由の分析を行い、学校の教育活動の改善を行うとともに、クラス担任や学生相談室の支援体制を強化していく。</p>
基準5 学生支援	<p>評価：やや不適切</p> <p>課題：保護者との連携については、成績不振者や出席不良の生徒に関しては特に、保護者との連携は重要であるが、十分に連携できているとは言えない。</p> <p>改善策：今年度より1年生の保護者会を開催するなど、保護者との連携への取り組みを始めている。ただし、学生指導におけるクラス担任の役割は大きく、担任がどのように保護者と連携を強化していくかについて改善していく。</p>

<p>基準6 教育環境</p>	<p>評価：適切である。</p> <p>課題：防災設備については、各校舎の設備状況の点検を強化して必要がある。</p> <p>改善策：防災設備については、老朽化している箇所の補修を随時行っていく。</p>
<p>基準7 学生募集と 受け入れ</p>	<p>評価：適切である。</p> <p>課題：入学選考結果を入学後の学力判断資料とし、教務システムで情報共有しているが、学生への指導に十分に結びつけられていない。</p> <p>改善策：教務システムで登録されている各学生の情報を共有し、学校生活の継続に難がある学生は特に、担任だけでなく学科全体でフォローをする仕組みを検討していく。</p>
<p>基準8 財務</p>	<p>評価：適切である。</p> <p>課題：安定して入学者を確保できており、短期的な財政基盤は安定している。中長期の財政基盤を安定するためには、退学者のさらなる抑制を図ることが重要である。</p> <p>改善策：中長期的に財政基盤を安定させていくために、予算配分の見直しや、収益事業等での収入を増加させることで財政基盤の更なる改善を図っていく。</p>
<p>基準9 法令等の遵守</p>	<p>評価：適切である。</p> <p>課題：「自己評価の実施と問題点の改善を行っているか」について、改善されている点もあるが、継続的に課題となっている項目もあり、改善に向けた方針を明確にする必要がある。</p> <p>改善策：継続的に課題となっている項目については、改善できる仕組みを検討していく。</p>
<p>基準10 社会貢献</p>	<p>評価：適切である。</p> <p>課題：ボランティア参加を希望する学生は一定数いるが、限られた修業年限の中でボランティア参加と学業の両立が難しく、施設からの要望に応えきれていない。</p> <p>改善策：ボランティア参加は将来の就業に際しても有益であると考えている。学校全体としてボランティア参加を促進する環境整備が必要である。</p>

#### 4. 学校関係者評価 総括と課題について

項目	評価・意見
自己評価結果についての 全体的な評価・意見等	退学者数の低減など、昨年より改善への取り組みがなされている。小項目において不適切であった項目に対しては、改善に努めていただきたい。また、卒業生の社会的活躍及び評価の把握、卒業生の支援体制と国家試験合格率向上を今後の課題として取り組んでいきたい。全体を通して高い評価だが、よりよい教育を推進していくために、努力を期待します。